

令和5年度 理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校 地学基礎 (第一学習社)						
副教材等	新課程版 ネオパルノート地学基礎 (第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

中学校の教科としての理科と高校の科目としての地学の違いを明確にして、地学で何を学ぶのかを理解しながら学習に取り組みましょう。最終的には、学んだことを日常生活に活かすことが目標です。(防災対策など)

そのためにも、『なぜ雨は降るのか』、『なぜ地震は起きるのか』などのありふれた日常現象に関心を持つことを大切にしてください。そのメカニズムを理解することで、将来の危険を回避できるだけでなく自然に対する見方が変わってきます。まずは身の回りの現象に対して疑問をもつことから始めましょう。

2 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら、地球の構成や宇宙の成り立ちを学ぶ。そして、地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、日常生活に影響を及ぼす自然災害への対策を検討する。全体を通して目的意識をもって観察・実験などを行い、論理的に探求する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中で捉えるなど、科学的な見方や考え方を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	宇宙の構成	太陽と恒星 宇宙のすがた	a:理科用語を正確に覚え、様々な自然現象について理解を進める b:図や表から得られた情報をもとに答えを導き出し、適切に表現することができる c:授業の内容について意欲的に取り組み、努力の姿勢が見られる	①定期テスト ②小テスト	①定期テスト ②授業プリント	①授業プリント ②予告なしの小テスト
	惑星としての地球	太陽系の天体 太陽系の誕生と地球の進化	a:理科用語を正確に覚え、様々な自然現象について理解を進める b:図や表から得られた情報をもとに答えを導き出し、適切に表現することができる c:授業の内容について意欲的に取り組み、努力の姿勢が見られる	①定期テスト ②小テスト	①定期テスト ②授業プリント	①授業プリント ②予告なしの小テスト
2 学期	活動する地球	地球の構造 プレートの運動 地震と地殻変動	a:理科用語を正確に覚え、様々な自然現象について理解を進める b:図や表から得られた情報をもとに答えを導き出し、適切に表現することができる c:授業の内容について意欲的に取り組み、努力の姿勢が見られる	①定期テスト ②小テスト	①定期テスト ②授業プリント	①授業プリント ②予告なしの小テスト
		防災(地震) 火山	a:理科用語を正確に覚え、様々な自然現象について理解を進める b:地震に関する知識をもとに、自身に必要な防災対策(避難グッズの選定など)を行うことができる c:授業の内容について意欲的に取り組み、努力の姿勢が見られる	①定期テスト ②小テスト	①定期テスト ②授業プリント	①授業プリント ②予告なしの小テスト
3 学期	大気と海洋	地球の熱収支 大気と海水の運動	a:理科用語を正確に覚え、様々な自然現象について理解を進める b:日常に隠された自然現象を、ヒントを使って解き明かし、適切な表現で説明することができる c:授業の内容について意欲的に取り組み、努力の姿勢が見られる	①定期テスト ②小テスト	①定期テスト ②授業プリント	①授業プリント ②予告なしの小テスト

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度